

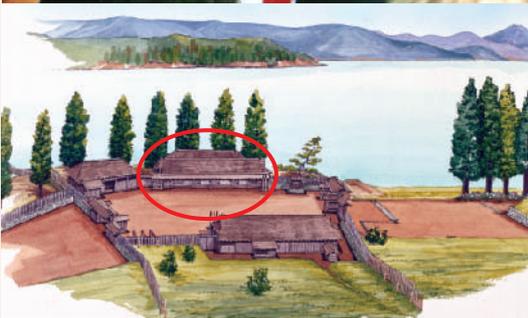


厳かに上棟式

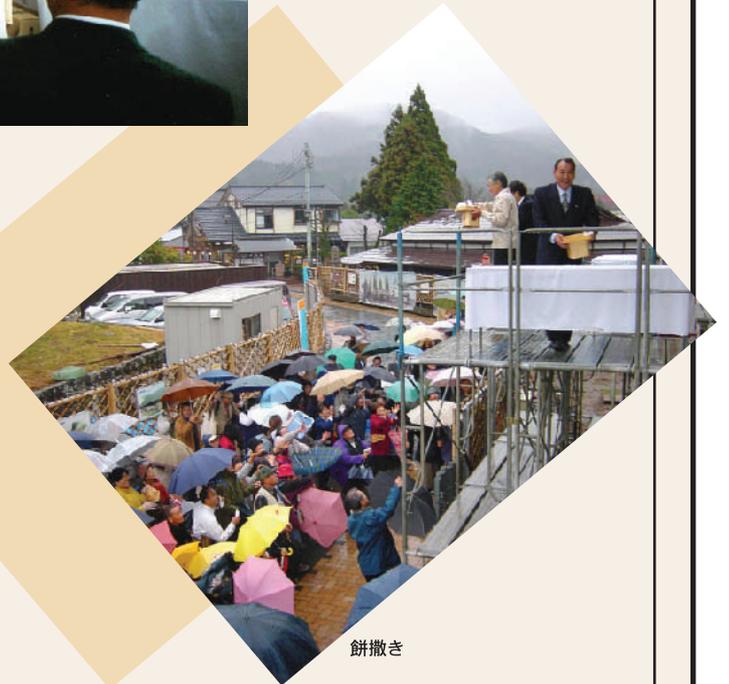
大番所・上番休息所の上棟をみんなでお祝い！



棟札



棟札奉安



餅撒き

現在、平成19年春の完成をめざして復元工事を実施している箱根関所の建物や構造物の内、完成の第1号となる大番所・上番休息所（おおばんしょ・かみばんきゅうそくしょ）の上棟式を、去る平成14年12月4日、箱根関跡の現地で行いました。当日は、折り悪く大雨でしたが、多くの関係者が集まり、厳かに

上棟式を執り行い、続いて、上棟式に集まった地元の箱根幼稚園の園児や箱根関跡の近隣の皆さん、観光客の皆さんに餅を撒き、みんなで大盛にお祝いました。

大番所は、箱根関所の建物の中では、小田原藩から出向した関所役人が詰め、ここを通る旅人の取り締まりを行った関所の

中心となる建物であり、また、上番休息所は、1か月交代で勤務した関所役人の休息や就寝の場所でした。

大番所・上番休息所の復元工事は、今後、屋根葺きや外壁の建て込み、建具の設置、各部屋に置かれていた家具・調度品の復元・設置などを行い、平成16年春に完成する予定です。

石垣の復元工事なども順調に進む

湖側斜面石垣復元工事終わる！

箱根関所の復元工事では、建物の復元を行うばかりではなく、石垣などの復元も行っています。その成果の一部をご紹介します。



湖側水辺の整備

大番所・上番休息所（おおばんしょ・かみばんきゅうそくしょ）と芦ノ湖との間の斜面は、平成11～13年度に実施した発掘調査により、斜面上に土留めと思われる石垣が、二重の台形に巡らされており、これは、台形に石垣を巡らせて造成範囲を決定し、その内側に盛土をして、関所の建物を建てる平場を確保したものであることが分かりました。また、大番所・上番休息所からの排水施設なども併せて発見されました。

この成果を受け、この斜面において、石垣に絡んでいる樹木の根を取り除いたり、崩れている石垣の積み直しなどを行い、斜面が崩落しないように整備を行いました。

山側斜面の整備

湖側水辺の整備が完成した後、今度は、山側斜面の整備に着手しました。まず、江戸口御門から続く、山側の石垣の復元に着手しています。また、遠見番所へと登る石段を修復するための準備として、舗装材の試験も行っています。舗装材の試験は、一冬を越して春まで、その様子を見ていきます。

今後は、山側斜面頂部の地盤の整備や石段の復元などを行う予定です。



湖側水辺の整備



山側斜面の整備



現地説明会公開日(毎月 第4 水曜日)

- 平成15年 1月22日(水曜日)
午前10時～11時 午後2時～3時
- 平成15年 2月26日(水曜日)
午前10時～11時 午後2時～3時
- 平成15年 3月26日(水曜日)
午前10時～11時 午後2時～3時

昭和40年に開設した御番所は、その下の発掘調査を進めるために、一部を京口千人溜りの湖側に移設をして、箱根関所資料館と共に営業をしています。



芦ノ湖の通行

関所小咄

現在、芦ノ湖には、遊覧船やモーターボート、釣り船などが数多く浮かんでいます。しかし、江戸時代には、芦ノ湖の「舟」での通行は禁止されていました。そのため、箱根関所の山側にある遠見番所から、足軽が2人1組になって、昼夜交替で、芦ノ湖の監視をしていました。

箱根町教育委員会生涯学習課
箱根関所整備事業推進室

TEL 0460-5-7601
<http://www.hakonesekisho.jp>